



2022年5月12日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社
代表者 代表取締役社長兼 COO 小嶋 智彰
(コード番号 4344 東証プライム)
問合せ先 取締役兼 CFO 青山 文彦
電話番号 03-6254-5231

2022年3月期 業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想と本日公表した実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	10,492	△1,769	△1,736	△1,741	△12.86
実績値 (B)	10,307	△2,259	△2,128	△3,502	△25.77
増減額 (B - A)	△185	△490	△392	△1,761	
増減率 (%)	△1.8	-	-	-	
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	12,851	540	452	191	1.40

2. 差異の理由

当連結会計年度における当社業績につきましては、売上高は概ね前回予想どおりに推移いたしました。一方で、連結業績予想値に比べ、営業利益で490百万円、経常利益で392百万円の差異が発生しました。その主要因は売上原価が451百万円多く生じたことによるものです。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、連結業績予想値に比べ1,761百万円の差異が発生しております。差異の主要因は上述の売上原価の増加451百万円に加え、投資有価証券の減損損失の増加1,103百万円、繰延税金資産の取崩しによる影響を含んだ法人税等及び法人税等調整額の増加265百万円が発生したことによるものです。具体的な差異の理由については以下の通りです。

・売上原価の増加理由

当社はCOVID-19影響前後においてIoT製品を中心に様々な製品の販売可能性を模索して参りました。販売が期待通り伸びたものや市場可能性が見えたものがあつた一方で、期待ほど伸びなかった製品もありました。海外及び国内の経済活動が回復基調に向かう中で、今後の経営資源の配分を考慮し、当社が選択と集中をすべき製品を見直しました。

今後も先行き不透明な経済状況が続くことを想定し、全社戦略の根本的な見直しをすべく、販売に注力する製品の選択と集中を行う中で、来期販売をしないことを決定したIoT製品について、ソフトウェア償却費の一時取込や製品評価損を計上いたしました。

・投資有価証券の減損損失の増加理由

COVID-19下において複数の投資先で、超過収益力が株式取得時より減少したと判断し、投資有価証

券の減損損失を計上しました。

- ・法人税等調整額の増加理由

一時差異の解消時期のスケジューリングを行い、繰延税金資産の回収可能性を検討しました。その結果、将来の合理的な見積もり可能期間における収益力に基づいた一時差異等加減算前課税所得の範囲を超えた繰延税金資産について、評価性引当額を計上することとなりました。

※詳細につきましては、同日公表の「2022年3月期 決算短信」をご覧ください。

以上